

1. 事業の位置付け

事務事業名	農道・用排水路整備事業		
事業担当	経済部 農水産課		
予算科目	01-060105-020000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	01	① <持続可能> 産業の発展を持続させる	
	02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等			
対象・受益者	農業者、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 水利組合、自治会】		
目的・目標		事業の概要	
農道や用排水などを整備することにより、農業の多面的機能である環境への保全が確保され、農業の生産性の向上と農業経営の安定が図られる。		農業生産性の向上のため、纏、北金目、北豊田、土屋地区などの農道を整備します。また、農業用水の確保を図るため、南金目、岡崎、豊田地区などの用排水路を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	農道整備延長						単位	m
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1,397	940	1,055			
活動指標②	指標名	用排水路整備延長						単位	m
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			960	658	712			
成果指標①	指標名	3箇年の農道整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：（纏・北金目等）41.2%、H20：（北金目等）27.7%、H21：（北豊田等）31.1%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			41.2	68.9	100			
成果指標②	指標名	3箇年の用排水路整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：（豊田等）41.2%、H20：（寺田縄等）28.2%、H21：（豊田等）30.6%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			41.2	69.4	100			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
農道や用排水路を改修整備したことにより、農業生産性の向上と安定が図られた。農道改良L=1,352m、用排水路（防護柵設置含む）L=923m									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	農道の拡幅や水路の改修により、大型機械の導入や用水の安定供給ができるため必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民に地元産の安心安全な食糧を供給することができ、有効性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	農道及び用排水路の改修を行うことにより、遊休農地の解消や地球温暖化の防止などにも役立ち、妥当性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	経済的な工法を採用し、更なるコスト削減に取り組んだ。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。今後は、更に環境及び景観にも配慮した整備の検討を行っていく必要がある。また、この事業がどれだけ市民の食糧の供給に役立っているのかを検証していきたい。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				農道：纏・北金目など、用排水：豊田など	農道：北金目など、用排水：大島など	農道：北豊田など、用排水：岡崎など		
財源内訳	国庫支出金	0	0	39,996	0	104,300	0	0
	県支出金	0	0	41,860	30,075	55,269	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	133,418	119,925	135,173	0	0
事業費 (A)		0	0	215,274	150,000	294,742	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.03				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	3.57	3.57	3.57	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	30,642	30,642	30,642	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	245,916	180,642	325,384	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 農業生産性の向上と農業の近代化に対応していくため、基盤整備を現状規模で継続する。	
平成21年度の実行方針	
更なる環境にやさしい農道・用排水路の整備を推進していく。	
課長コメント	基盤整備を推進することにより、大型機械の導入や施設の改修による農作業の省力化が図られ、生産性が向上する。今後も継続的に整備を進める。